

博士前期課程 学位審査基準

① 研究成果の妥当性

研究成果は、独創性や萌芽性などの観点から新規性を有し、発展性や応用などの観点から有用性に優れ、かつ信頼性があること。

② 情報収集能力

十分な文献や研究動向の調査を行い、先行研究に対する自分の研究の位置づけと意義を明確にできていること。

③ 研究遂行能力

研究または、制作を進めるにあたり、的確な理論の構築や計画が作成され、計画に基づいた実験・シミュレーション・調査などによる論理的な実証・評価、システムの実現と評価、作品の制作などが十分にできていること。

④ 情報発信能力

研究内容をわかりやすくプレゼンテーションでき、質問に的確に答えられること。

⑤ 研究成果の評価

修士論文、特定課題における研究の成果または、制作の成果として審査を受ける。修士論文として審査を受けるものは、論文を提出する。特定の課題における研究の成果または、制作の成果として審査を受けるものは、指示された適切な方法で研究内容をまとめる。

※研究成果とは、修士論文、特定課題における研究または、制作によって得られるものである。

学位審査評価シート（博士前期課程）

項目	評価内容	ほぼ できている	概ね できている	できて いない	該当 しない
① 研究 成果 の 妥当 性	研究成果は、独創性や萌芽性などの観点から新規性を有している				/
	研究成果は、発展性や応用などの観点から有用性に優れている				/
	研究成果は、信頼性がある				/
② 情報 収集 能力	十分な文献や研究動向の調査が行われている				/
	先行研究に対する自分の研究の位置づけと意義が明確にできている				/
③ 研究 遂行 能力	的確な理論が構築されている				
	的確な研究計画が作成されている				
	研究成果は、計画に基づいた実験により実証されている				
	研究成果は、計画に基づいたシミュレーションにより実証されている				
	研究成果は、計画に基づいた調査により実証されている				
	研究成果は、計画に基づいてシステムが実現されている				
	研究成果は、計画に基づいて制作された作品である 成果物に対する論理的な評価ができている				
④ 情報 発信 能力	研究内容をわかりやすくプレゼンテーションできている				/
	研究内容にかかわる質問に的確に答えられる				/
⑤ 研究 成果 の 評価	修士論文の体裁(表紙、要旨、目次、章立て、本文、結論、参考文献など)が整っており、論旨の展開が説得的になされている。				/
	特定課題における研究の成果または、制作の成果における修士副論文には課題、方法、内容、結論または参考文献などが含まれ、論旨の展開が説得的になされている。				
学位 審査	①～⑤の評価をもとに総合的に判断し、ディプロマポリシーの各項目が達成できている。				/